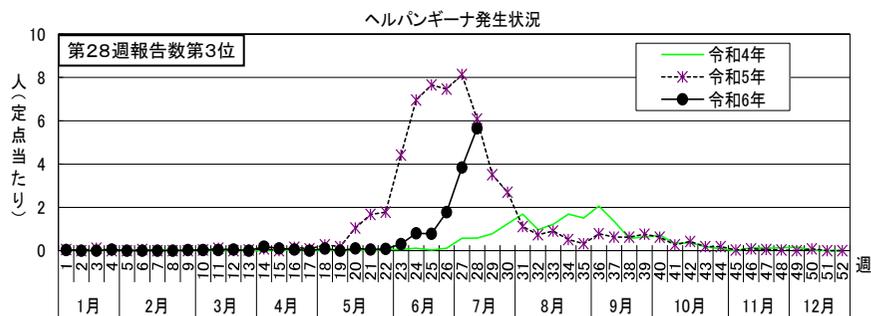
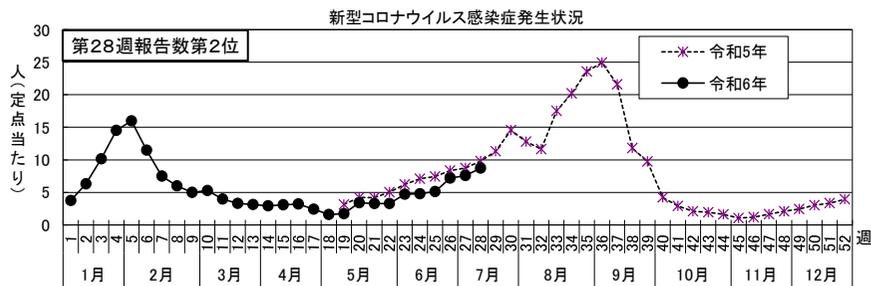
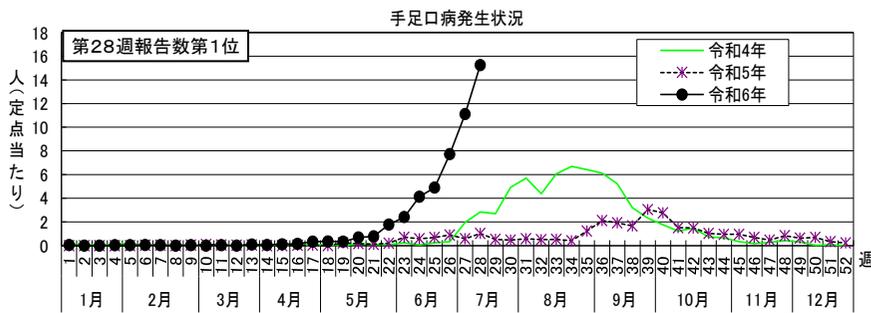


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和6年7月8日（月）～令和6年7月14日（日）〔令和6年第28週〕の感染症発生状況

第28週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 手足口病 2) 新型コロナウイルス感染症 3) ヘルパンギーナでした。
 手足口病の定点当たり患者報告数は15.24人と前週（11.11人）から増加し、例年より高いレベルで推移しています。
 新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者報告数は8.70人と前週（7.57人）から増加しました。
 ヘルパンギーナの定点当たり患者報告数は5.65人と前週（3.84人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。

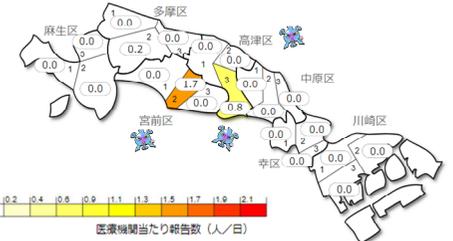


インフルエンザの地域的な流行がみられています！

川崎市におけるインフルエンザの定点当たり報告数は3週連続で増加しており、令和6年第28週（7月8日～14日）に0.44人となりました。特に高津区で地域的な流行がみられており、定点当たり1.80人と流行開始の目安である1.00人を超えています。また、本市のリアルタイムサーベイランスにおいても、一部の地域においてA型インフルエンザの報告数が増加しています。

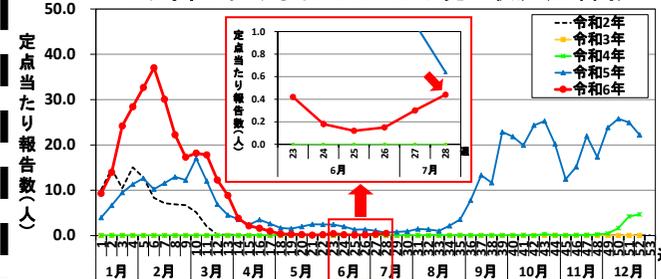
現在市内では、インフルエンザだけでなく新型コロナウイルス感染症の報告数も増加しています。手指衛生等の対策を徹底するとともに、咳やくしゃみ等の症状がある場合は、感染を拡げないために咳エチケットを心がけましょう。

川崎市におけるA型インフルエンザのリアルタイムサーベイランス分布マップ（令和6年7月16日）



川崎市感染症情報発信システム (KIDSS) (令和6年7月17日15時時点)

川崎市におけるインフルエンザ発生状況(5年間)



正しい咳エチケット

マスクを正しく着用する。

咳やくしゃみをする時は、ティッシュ・ハンカチ、上着の内側や袖などで口や鼻を覆う。

悪い事例

何もせずに咳やくしゃみをする。

咳やくしゃみを手でおさえる。